



令和4年3月23日
四国地方整備局

令和3年度 第2回 四国地方整備局総合評価本局小委員会の開催結果について

令和3年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会を令和4年2月2日に開催し、令和2年度（R2.12月以降）から令和3年度（R3.11月末迄）の総合評価落札方式による本官契約の工事について提示し、その中から委員により抽出していただいた代表工事3件について具体的な総合評価内容の説明を行い、ご意見をお伺いしました。

また、上記と同じ期間における総合評価落札方式、プロポーザル方式による本官契約の建設コンサルタント業務等について提示し、ご意見をお伺いしました。

これらの意見を参考に、総合評価落札方式等の審査又は評価が、より一層中立かつ公正に行われるよう今後とも努めて参ります。

【主な意見の概要】

- ・総合評価落札方式を導入してから10年以上が経過している。総合評価落札方式が品質確保等において効果を発揮できているかどうか分析が必要と考える。
- ・参加者に適切で高度な技術提案を促すような技術提案テーマの設定の工夫が必要と考える。

本局小委員会の概要

1. 日時：令和4年2月2日（水）13：30～15：30
2. 場所：Web会議（高松サンポート合同庁舎北館13階災害対策室）
3. 出席委員：武藤委員、那須委員、長谷川委員、森脇委員
4. 議事次第・・・・・・・・別紙－1
5. 開催結果の概要・・・・別紙－2

＜問い合わせ先＞	国土交通省 四国地方整備局	TEL：(087)851-8061(代表)
【企画部（全般）】	技術管理課長 田邊 守英	(内線3311)
工事窓口：	技術管理課長補佐 柳川 克一	(内線3314)
業務窓口：	技術管理課長補佐 猪熊 敬三	(内線3313)
【港湾空港部】	品質確保室長 堀家 正	(内線6413)

日時：令和4年2月2日（水）13:30～15:30

場所：Web会議

令和3年度 第2回 四国地方整備局総合評価本局小委員会

議 事 次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- 1) 令和3年度の総合評価落札方式による契約結果等について . . . 資料－1

3. 審議事項

- 1) 令和2・3年度の適用工事・業務（本官契約）について . . . 資料－2

2) 具体事例について

- 令和2－4年度 豊中観音寺拡幅本山橋上部工事（企画部） . . . 資料－3

- 高知港海岸浦戸湾地区護岸（改良）工事（港湾空港部） . . . 資料－4

- 令和3－4年度 今治港湾合同庁舎建築その他工事（営繕部） . . . 資料－5

4. 閉 会

令和3年度第2回四国地方整備局総合評価本局小委員会 開催結果の概要

日時：令和4年2月2日（水） 13：30～15：30

場所：Web会議

出席委員 高知工科大学 教授 那須 清吾
香川大学 特任教授 長谷川 修一
徳島大学大学院 教授 武藤 裕則
愛媛大学大学院 教授 森脇 亮

I 報告事項

令和3年度の総合評価落札方式による契約結果等について

II 意見聴取の対象

小委員会の役割が、複数の工事（総合評価落札方式）及び業務等（総合評価落札方式、プロポーザル方式）に共通する評価方法及び個別工事、業務等の評価方法や落札者の決定方法に関することに対して意見を聴取することを踏まえ、令和2年度（R2.12月以降）から令和3年度（R3.11月末迄）の総合評価落札方式による工事41件（本官契約工事）について評価項目の内容等を提示。

また、上記と同じ期間における総合評価落札方式、プロポーザル方式による建設コンサルタント業務等41件（本官契約業務）について提示。

【工事関係】 令和2・3年度対象工事

本官（本局）契約工事（R3.11.30基準日）

	開札済み	手続き中	準備中	合計
技術提案評価型（S型）2テーマ	9 件	3 件	0 件	12 件
技術提案評価型（S型）1テーマ	9 件	2 件	0 件	11 件
施工能力評価型（Ⅰ型）	4 件	1 件	0 件	5 件
施工能力評価型（Ⅱ型）	7 件	2 件	2 件	11 件
技術提案・交渉方式	1 件	1 件	0 件	2 件
合 計	30 件	9 件	2 件	41 件

【業務関係】 平成2・3年度対象業務等

本官（本局）契約業務 R3.11.30 基準日

		特定・開札済	手続き中	準備中	合計
業務	プロポーザル方式	18 件	2 件	0 件	20 件
	総合評価落札方式	20 件	1 件	0 件	21 件
役務	企画競争方式	0 件	0 件	0 件	0 件
合計		38 件	3 件	0 件	41 件

III 主な意見の概要

- ・総合評価落札方式を導入してから10年以上が経過している。総合評価落札方式が品質確保等において効果を発揮できているかどうか分析が必要と考える。
- ・参加者に適切で高度な技術提案を促すような技術提案テーマの設定の工夫が必要と考える。